

令和2年度四街道市水道事業決算について

・経営状況

令和2年度の収益的収支については、収益総額が令和元年度に比較して3,748万7,425円(2.2%)の増で17億3,709万4,770円となりました。これに対する費用は、費用総額で令和元年度に比較して1,286万38円(0.9%)の減で14億7,000万3,120円となりました。

収支内訳は、営業収益13億1,394万9,268円に対し営業費用は14億6,912万9,226円で、差し引き1億5,517万9,958円の営業損失となり、営業外収支の4億2,227万1,608円の利益を加えた令和2年度の純利益は2億6,709万1,650円となり、令和元年度に比較して5,034万7,463円(23.2%)の増益になりました。

・建設関係

令和2年度の建設改良事業については、老朽管の更新として大日地先、旭ヶ丘地先及びみそら地先ほかで約3,400メートルの布設替工事を行うとともに、基幹管路である6・21号井の導水管の更新工事を行い、耐震性の強化を図りました。また、吉岡地先において次期ごみ処理施設建設に伴う配水管整備を実施しました。

浄水場施設では、第2浄水場の濃縮槽設備の更新工事を行い、施設の機能維持を図りました。